

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会 長 中武泰一郎
副会長 函 師 義 孝
幹 事 藤 本 範 行
例会日 毎週木曜日 12:30~
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1725 回 平成 24 年 2 月 9 日プログラム

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| 四つのテスト・雪 | 9. 外部卓話 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 長峯 基

中部分区ガバナー補佐 林 務

2730 地区テーマ

とにかく「善いことをしよう。」

高鍋ロータリークラブテーマ

原点をみつめ「団結」「創造」「挑戦」

11月の月間テーマ

ロータリー財団月間

本日の例会案内

- * 血圧測定
- * 外部卓話—上田 普様

次週例会案内 ; 2月16日 (1726回)

- * 会員卓話—三原正宏君
- * 100万ドル
- * 終了後プログラム委員会

第 1724 回 例会内容

■会長の時間

会長 中武泰一郎君

今月は世界理解月間です。先週の情報集会では多くの事を学びましたが、時には、ロータリー設立の理念に触れてみる事も大切な事かもしれません。



40年前の1972年2月3日に、札幌で冬季オリンピックが始まりました。我々も、テレビの前で日の丸飛行隊やジャネット・リンの活躍に声援を送った記憶が思い起こされます。

さて今年、うるう年で2月が29日です。

なぜこのような事になったのでしょうか。

ローマ暦では3月が一年の始めで、2月は一年の終りでした。暦の上での半端は、年末の2月にしわ寄せが来ておりました。

奇数月が31日。偶数月が30日。年末の2月だけが29日。4年に一度だけ30日になっていたとの事です。現在よりもわかり易いと思いました。

その後に1年の始まりが1月に移行し、さらに8月が戦勝記念という事で31日に変更され、それに伴い8月以降は偶数月を31日に。奇数月を30日に変更した。

その結果、2月に更なるしわ寄せが来て平年で28日に。閏年が29日になってしまったとの事です。

日本でも現在は、西洋暦によって事がなされておりますが、暦の根拠となっておりますのは、現在に至るまで明治31年の勅令90号(閏年に関する件)であります。

その内容は、神武天皇即位紀元に基づきと定められています。

- ① 神武天皇即位紀元数を、4で割って割り切れる年を閏年とする。
- ② ただし①であっても、皇紀年数から660を引いた数を100で割って、割り切れる年で、かつ、その結果が4で割り切れない年は平年とする。

ところで2月29日生まれの人の誕生日はどうなるのか? 民法の「年齢計算に関する法律」によりますと、閏年以外の年は28日の満了日。すなわち、3月1日の午前0時0分ということになります。

又、総務省の統計では2月29日生まれは1461人に1人です。日本全体では、8万7千人余りだそうです。

宮崎県(113万人)では約773人。

高鍋町(2万1千人)では約14人。

■幹事報告

幹事 藤本範行君

<文書案内>

*2012-13年度ロータリー手帳申込の案内

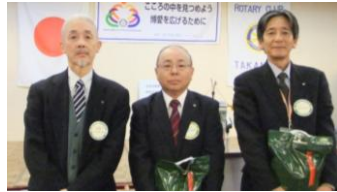
*地区大会ゴルフ組合せ表

- * 米山奨学生歓送会の案内
日時 平成 24 年 3 月 25 日
会場 鹿児島東急イン
- * 児湯准看護学校卒業式案内
日時 平成 24 年 3 月 2 日
場所 児湯准看護学校



♪ 月初めのセレモニー ♪

- ♥ お誕生日おめでとう！ 佐々木九州男君
- ♥ 結婚記念日おめでとう！ 宮元武次君・青木善明君



◆ 出席報告

出席リーダー 福本幸良君

出席状況

会 員 数	46 名
出席会員数	35 名
ホーム出席率	79.55%
前々回修正出席率	84.44%



◆ BOX披露

親睦活動リーダー 石田喜克君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

佐々木九州男君 誕生日祝いのお返しとして。

宮元武次君 結婚記念祝のお返しとして。ありがとうございました。

青木善明君 結婚記念日・・・それは2月11日の建国記念の日でした・・・何故かとても寒い日だった事を覚えています。本日は祝って頂き、有難うございます。今日のこのぬくもりを妻へ伝えたいと思います。



◇ 会員卓話

坂田師通君

入浴死について

皆様は、冬になると高齢者が入浴中に突然亡くなったというニュースを時々耳にされることと思います。

実際に入浴関連事故で亡くなる方は年間1万4千人にのぼるとされ、交通事故死が年間5千人を下回っていることを考えると大変大きな数字であります。

日本温泉気候物理医学会が2008年総会で開催した「温泉入浴とリスク管理・入浴関連事故」という題のパネルディスカッションでは、①入浴死の発症時期は12-2月の冬期間に多く、地方・地域に関係ない。②男女とも65歳以上の高齢者が大多数を占める。③入浴死の場所として、自宅、温泉、公衆浴場などが挙げられるが、自宅での入浴死が最も多い。という結論でした。その後、同学



会は、救急医学会との共同調査を行ったところ、死亡時の臨床診断と解剖診断では溺死が最も多かったのに対し、死亡後の画像診断ではくも膜下出血が最も多いという興味深い結果が得られました。この結果から、死因が溺死であっても、何らかの基礎疾患が誘因であり、それが結果的に溺死になった可能性が高いということが考えられました。今後は、死亡後の画像診断を入浴死の原因究明のために積極的に活用すべきであると言われております。

入浴死が高齢者に多いことから、自律神経-心血管反応不安定状態という自律神経系の変化が関与していると考えられています。これは、浴室と脱衣場の間に著しい温度差があると、高齢者にとっては強い自律神経の刺激となって、一時的に徐脈や低血圧となり意識障害を起こし、溺水や心・脳疾患の発作を起こすものと考えられます。

大変興味深いことですが、北海道の旭川は他の地域と比較して入浴死の発生が極めて低いことであります。この理由は、旭川では他の地域と異なって部屋毎の個別暖房ではなく、家屋全体の暖房がなされていることによるとされています。すなわち、入浴するに際して浴室も脱衣場も同様に暖かく保たれており、急激な温度変化に伴う自律神経-心血管反応不安定状態のような病態を回避しているものと考えられています。また一方で、長時間の入浴により熱中症をきたし、そのため失神し、救助が遅れると体温がさらに上昇して、血圧低下や溺没によって心肺停止にいたることも指摘されております。

日本人にとって、入浴は心身の健康維持に重要な役割を果たしていることは言うまでもありません。しかし、一方で多数の方が入浴に関連して亡くなっているのも事実で、そのような方々を1人でも減らしたいと願っております。宮城県鳴子警察署の警察医である高橋伸彦先生は、入浴死を予防するための注意事項として以下の10項目を挙げておられます。①高齢者、循環器疾患を持つ人、或いは長期服薬中の人は入浴時には特別の注意が必要であり、殊に旅行における宿泊の際には細心の注意が必要である。②体調が悪い時には入浴を控える。殊に風邪気味で体温が高めの時には入浴を中止する。また血圧や不整脈をチェックする。③入浴の前後に水分を補給する。④単独での入浴を控え、複数での入浴を心がける。⑤湯温を40℃以下にする。⑥脱衣所の温度を高めに保つ。⑦湯に入る前かけ湯をする。また半身浴に心がける。⑧深夜の入浴を控える。⑨飲酒後は入浴を控える。⑩長湯をしない、或いは短時間の入浴にする。

この7年間に坂田病院を受診されている患者さんで、入浴中に亡くなられた方は7名おられます。1名を除いて皆様65歳以上の方でした。また、5名の方が独り暮らしでした。病気は、6名の方が高血圧あるいは心疾患であり、1名がパーキンソン病でした。

◆ 高鍋ロータリークラブミニラグビー大会のご案内

日時 平成24年2月12日(日) 9:45~

場所 小丸川運動公園

多数のご参加を宜しくお願い致します。